

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ペイルーゲ・リタム市中学校整備計画」の事業完了

2020年9月10日、江原功雄駐モーリタニア大使と、ペイルーゲ・リタム市のハッサム・サムリー・ムバラク・セブハ市長は、「ペイルーゲ・リタム市中学校整備計画」の事業完了を迎えました。

この計画は日本大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力により、78,761ユーロ（約3,180,000ウギア）が、ペイルーゲ・リタム市に提供され、約400人の生徒に対するより良い学習環境の提供並びに教師及び職員に対する良好な職場環境の提供のために、3教室、手洗い場付きトイレ、職員室、守衛室が建設されました。また、学校備品、守衛備品も購入されました。

江原功雄日本大使コメント

新型コロナウィルス感染症の影響で長い間休校期間があった後、子ども達のより良い環境での学習再開に貢献できることを嬉しく思っています。また、事業のすべての成果が、継続的な利用のために維持管理され、末永くこの国の未来である子供達の教育のために使用され続けられることを望んでいます。また、子供達も大人たちの期待に応えてこの整備された中学校で懸命に勉強することを期待しています。

日本政府はこれまでモーリタニアにおいて、教育と人づくりが国の発展と貧困削減にとって何よりも重要であるとの考えに基づき、教育分野の支援を、国及び地方レベルで実施してまいりました。これらの取組みは、モハメド・ウルド・シェイク・エル・ガズワニ大統領閣下の政策の重点分野にも合致するものです。江原功雄大使は、この重要な事業を通じて、何よりも両国の友情と連帯が更に強化されることを望みました。

被供与団体コメント

大使閣下殿

このプロジェクトが、生徒の父兄と私たちの市のすべての住民に多大なる影響を与えることをここに断言します。私たちは、住民と市のために、様々な異なる分野における両国間の更なる協力を期待しています。

